News Release

2026 年 10 月 27 日
一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）

重電機器受注生産品
2026 年度 第Ⅱ四半期 及び 2026 年度 上半期 受注実績

JEMA では、わが国の重電産業の景況を、需要者（業種）別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA 会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。
本ニュースリリースでは、「2026 年度 第Ⅱ四半期（7～9月）」及び「2026 年度 上半期（4～9月）」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

2026 年度 第Ⅱ四半期（7～9月）の概要

重電機器受注生産品の 2026 年度 第Ⅱ四半期（7～9月）の受注額は、6,305 億円、前年同期比 100.5%と8四半期連続のプラスとなった。（※以下、前年同期比は「同」と略記）

【需要者別動向】

◆内需は 4,991 億円、同 99.3%と8四半期ぶりのマイナスとなった。

- 製造業は1,113億円、同103.4%と5四半期連続のプラスとなった。主要需要先の鉄鋼業はマイナスとなったが、はん用・生産用・業務用機械、自動車がプラスとなった。
- 非製造業は3,138億円、同97.0%と7四半期ぶりのマイナスとなった。主要需要先の運輸業・郵便業・通信業はプラスとなったが、電力業がマイナスとなった。
- 官公需は 614 億円、同 94.3%と3四半期ぶりのマイナスとなった。

◆外需は 1,314 億円、同 105.7%と2四半期連続のプラスとなった。

【製品別動向】

- 発電機：外需がマイナスとなり、6四半期ぶりのマイナスとなった。
- 交流電動機：運輸業・郵便業・通信業、外需がプラスとなり、2四半期連続のプラスとなった。
- 電力変換装置： 運輸業・郵便業・通信業、外需がプラスとなり、2四半期連続のプラスとなった。
- 変圧器：運輸業・郵便業・通信業、外需がプラスとなり、前四半期のマイナスから転じてプラスとなった。
- 遮断器：電力業、運輸業・郵便業・通信業、外需がマイナスとなり、3四半期連続のマイナスとなった。
- 配電装置：運輸業・郵便業・通信業、外需がプラスとなり、6四半期連続のプラスとなった。
- 制御装置：電力業、鉄鋼業がマイナスとなり、2四半期連続のマイナスとなった。

2026 年度 上期（4～9月）の概要

重電機器受注生産品の 2026 年度上期の受注額は、1 兆 3,902 億円、同 111.3%と4半期連続のプラスとなった。

◆内需は 1 兆 1,196 億円、同 108.1%と 10 半期連続のプラスとなった。

◆外需は 2,706 億円、同 126.9%と前半期のマイナスから転じてプラスとなった。

好調の背景には、生成 AI の普及に伴うデータセンターの新増設・高電力密度化により、変圧器、配電装置、電力変換装置などの受配電・電源設備需要が拡大していることがある。加えて、国内では設備更新に向けた投資が底堅く推移し、海外でもデータセンター整備や電力需要の増加を受けた送配電網の増強投資が進んだことが、内需の堅調さと外需の大幅な伸びに寄与したとみられる。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■対象（重電機器受注生産品）

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

・需要者（業種）は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。

・重電機器の主要製品は、回転機（発電機、交流電動機）、静止・開閉器（電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置）等です。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます

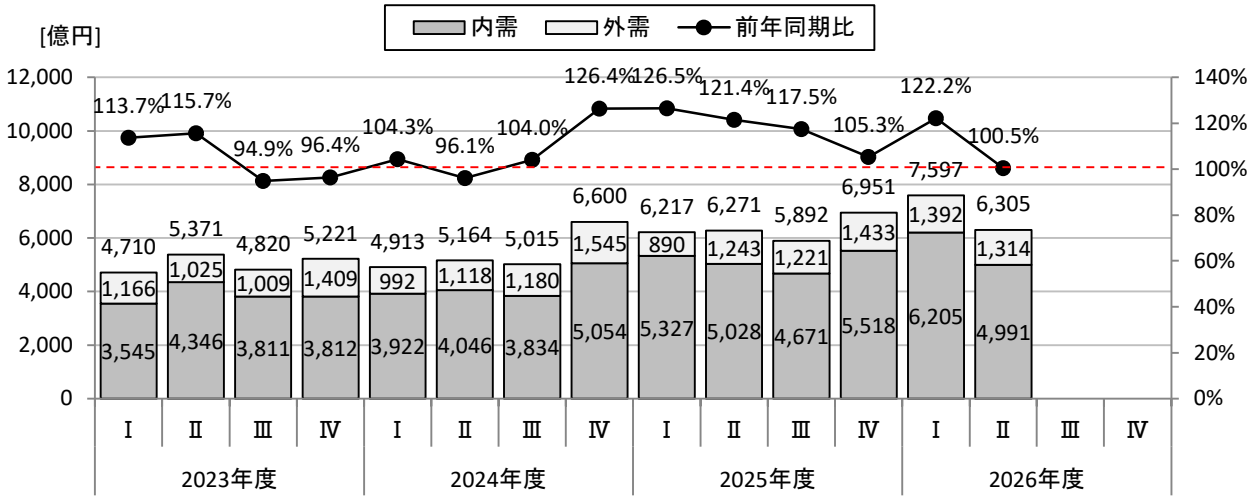
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます

■公表の種類

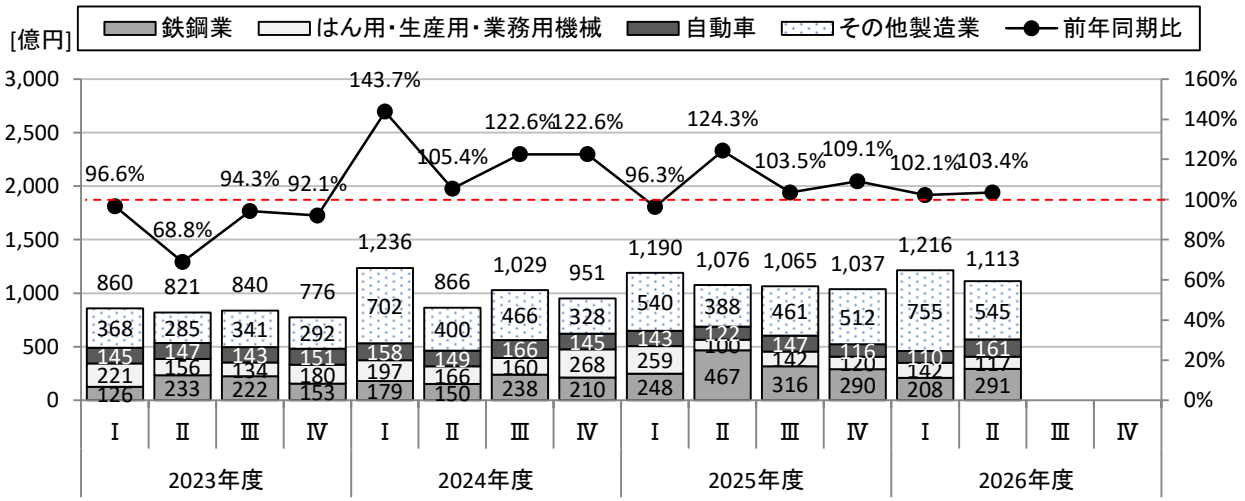
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

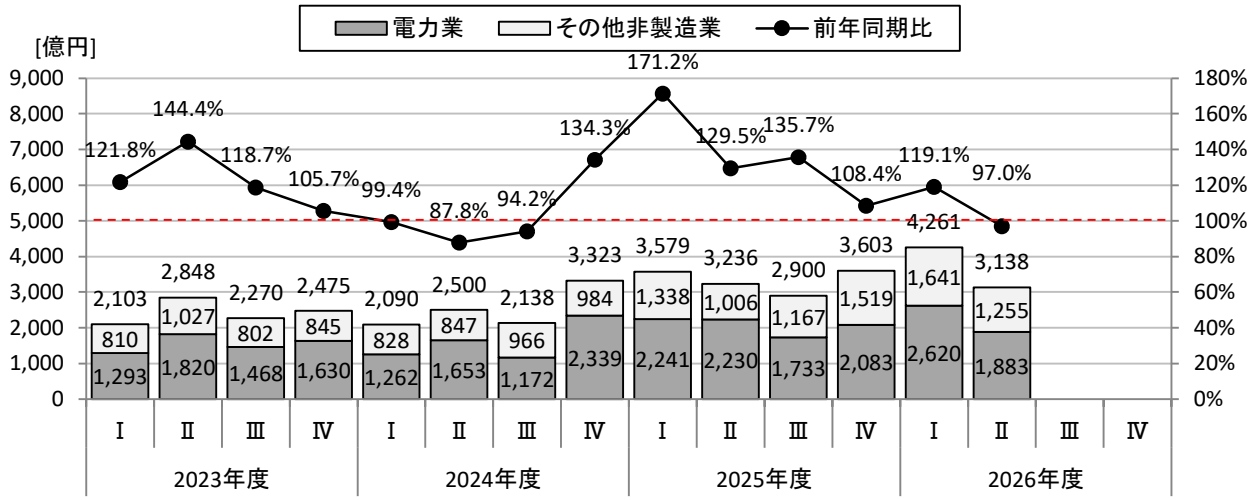
重電機器受注生産品の受注実績（内需＋外需）



内需の内訳（製造業）



内需の内訳（非製造業）



本資料に関する弊会問い合わせ先
TEL：03－3556－5884
技術戦略推進部　重電・産業技術課